

2008-06-02(月)

■台湾のコンビニでお買い物

台湾に行って来ました。

単なる観光旅行だったのですが、環境面で「へえ～」と思ったのがレジ袋のこと。

到着早々、ガイドさんから

「袋は有料ですから、お買い物には何か袋を持って行った方がいいですよ！」

と言われました。

ホテルの横にセブンイレブンがあったので、さっそくのぞいてみました。

(街中のいたるところにセブンイレブンを始め、コンビニがあります。)

台湾の水は硬水なので、水道の水を飲むことはできません。

そこでペットボトルのお水を2本買いました。

レジで支払いをすませても、日本のコンビニと違って、袋は登場しません。

テープを貼ることもなく、ただ商品を渡すだけ。

日本のやり方にすっかり慣れていた私にとって、拍子抜けするくらい、

あっさりしたものでした。

その後のお客さんの様子を見ていると、

ごくごく自然に「レジ袋ナシ」は続いていったのでした。

私が見ている限り、有料でレジ袋を買い求めた人はいませんでした。

(因みに、大きいレジ袋の価格は2元、小さい方は1元だそうです。

1元約3.5円なので、それぞれ7円と4円といったところでしょうか。)

「やればできる！」—日本でもいざ有料化してみれば、

それが当たり前になると思います。

(赤い12番)